

試験依頼番号：2020D-BT-1125

試験検査報告書

試験依頼者： 株式会社大和バイオテック
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 除菌試験
試験責任者： 李 新一

2020年11月27日、当センターに提供された検体について行った
試験結果は次のとおりです。

2020年12月22日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸7-21-14
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書の転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

除菌試験

1. 試験目的

第十七改正日本薬局方参考情報の消毒剤の評価法を参考とし、検体の除菌効果を調べる。

2. 検体

大和バイオリキッド 各1点

3. 試験菌

Cladosporium sphaerospermum (クロカビ) NBRC 6348

4. 試験方法

4-1) 試験孢子液の調製

試験菌をポテト・デキストロース寒天培地に接種し、20～25℃で1週間培養した。培養後、0.05% ポリソルベート 80 添加生理食塩水を用いて、菌数が $10^{7\sim 8}$ CFU/mLになるように調製したものを試験孢子液とした。

4-2) 試験試料の調製

検体を試験管に10 mL 分注したものを試験試料とした。

4-3) 試験孢子液の接種および培養

試験試料に試験孢子液を 0.1 mL 接種し、25°Cで静置した。

4-4) 生菌数測定

接種 24 時間後に、試験試料の 10 倍希釈系列をレシチン・ポリソルベート 80 添加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト液体培地で調製したものを試験液とした。これら試験液をレシチン・ポリソルベート 80 添加サブロー・デキストロース寒天培地に接種し、20~25°Cで 5~7 日間培養した。

培養後、形成された集落をカウントし、生菌数を算出した。

また、滅菌リン酸緩衝生理食塩水をコントロールとし、同様に試験を行った。

5. 試験結果

検体の除菌試験結果を表 1 に示した。

表 1. 検体の *Cladosporium sphaerospermum* に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		24 時間後	
		平均値	各試料値
大和バイオリキッド	2.6×10^5	-	-
コントロール	2.6×10^5	2.6×10^5	2.6×10^5

コントロール：滅菌リン酸緩衝生理食塩水、
-：菌が検出されない (<10 CFU/mL)。

以 上